

令和5年度 スーパーサイエンス 「SS課題研究Ⅱ」 シラバス

| | | | |
|-----|--|----------|----------|
| 単位数 | 2単位 | 学科・学年・学級 | 理数科 3年H組 |
| 教科書 | 理科課題研究ガイドブック 第3版 小泉治彦・著（千葉大学先進科学センター） | 副教材等 | |

1 学習の到達目標

2年次に履修した「SS課題研究Ⅰ」を発展させ、知的好奇心や身近な問題への関心をもとに、自ら課題を発見探究し、成果を発表することを通じ、自然を探究する能力や態度を育て、創造的な思考力を高め、次代を担う研究者を育成する。

2 学習の計画

| 学期 | 月 | 単 元 名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料 |
|----|---|-------|-------------------|---|---|
| 前期 | 4 | | 研究を進める | ・オリエンテーション ・「SS課題研究Ⅰ」の自己評価 ・今後の方針を共同研究者、指導教諭と協議をし、研究を進める。 | |
| | 5 | | 成果の発表 | ・【口頭発表会が予定日から後ろに変更された場合】 →教員に研究の内容を説明し、ディスカッションする。 (A3版資料作成) | |
| | | | 成果をまとめる 研究を進める | ・論文原稿作成 ・データ処理 ・口頭発表者用スライド作成 ・共同研究者と協議しながら論文原稿作成 | ・発表の態度、 スライドの出来、 質疑応答の対応等 |
| | 6 | | | | |
| | 7 | | 成果を発表する | ・発表の練習 ・理数科口頭発表会で発表 | ・口頭発表会での発表の態度、 スライドの出来、 質疑応答の対応等 |
| | 8 | | | | |
| | 9 | | 成果をまとめる | ・論文原稿作成 | ・口頭発表に使用したスライドデータを期限内に提出できたか。 発表会后 【スライドデータ提出】 【研究ノート提出】 【論文原稿提出】 |

| 学期 | 月 | 単 元 名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料 |
|--------|----|-------|---------|---|----------|
| 後 期 | 10 | | | | |
| | 11 | | 成果をまとめる | ・ 論文原稿校正 | 【振り返り評価】 |
| | 12 | | 振り返り | ・ 論文原稿校正 ・ 振り返り面談 ・ S S 課題研究Ⅱの振り返り ・ 実験室環境整備 | |
| | 1 | | | | |

3 評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 自然の事物・現象や数学的事象に関する課題を設定し、主体的にそれらを探究しようとするとともに、科学的・数学的態度を身に付けている。 |
| 思考・判断・表現 | 課題を設定し、探究する過程を通して、事象を科学的にまたは数学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 |
| 観察・実験の技能 | 課題を設定し探究する過程を通して、観察、実験などの基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能、また事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 |
| 知識・理解 | 課題を設定し探究する過程を通して、自然の事物・現象や数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 |

4 評価の方法

| |
|---|
| 関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。 |
|---|

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 論文原稿やデータ提出の締切日は期日厳守のこと。 ・ 入試等で課題研究の成果を発表したい者は担当者と相談して実験やまとめを進めること。P Cは電源を切って返却すること。 |
|--|